

患者さんへ

「発作性心房細動に於ける Box 隔離術の有用性に関する検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ること、それが困難な場合には、その情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2021年1月より2024年12月までに名古屋徳洲会総合病院 循環器内科で心房細動に対しカテーテルアブレーションを受けた/受ける患者の内、上大静脈隔離を施行した/する方
2 研究目的・方法	本研究の目的は、発作性心房細動に対する左房後壁及び肺静脈隔離術(以下 BoxPVI と略します)の有用性と臨床的意義を、上大静脈隔離を施行した患者群で検討いたします。本研究により、発作性心房細動に対する BoxPVI の意義がより明確になると考えられます。 研究の期間:施設院長許可(2023年12月予定)後~2026年3月
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、体重、家族歴、生活習慣、病歴等 また、心エコー所見、アブレーション施行時の電気生理学的所見と、急性期及び遠隔期の不整脈発生状況等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:加藤千雄 名古屋徳洲会総合病院 循環器内科 院長 住所:春日井市高蔵寺町北 2-52 電話:0568-51-8711